

## 事実婚関係及び生計同一関係に関する申立書

1 事実婚関係の開始日 ※①が障害年金受給権者である場合には記入

(昭和・平成 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日・頃)

2 別世帯になっている理由

※①と②は同居しているが別世帯となっている場合には記入

---

---

---

---

3 同居についての申立 (別居していることの理由)

※①と②の住民票上の住所が異なる場合には記入

---

---

---

---

4 経済的援助についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ ①から②に対する経済的援助の有無 ( あり ・ なし )

㊧ 上記㊦で「あり」の場合にはその回数 ( 年 ・ 月 約 \_\_\_\_\_ 回程度)

㊨ 経済的援助の内容

---

---

---

---

---

---

---

---

**5** 定期的な音信・訪問についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ 音信の手段 ( )

㊧ 訪問回数 (年・月・週 約 \_\_\_\_\_ 回程度)

㊨ 音信・訪問の内容

---

---

---

---

---

**6** 婚姻の意思及び夫婦として共同生活を営んでいることの申立

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

下記①の者と下記②の者は、戸籍簿上の婚姻関係にはありませんが、将来において婚姻する意思があることから、現在は夫婦としての共同生活を営んでおり、生計を同じくしております。

① 受給権者の住所、氏名

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

② 受給権者の配偶者の住所、氏名

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

**7** 第三者による証明欄

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

上記 ① ~ ⑥ の事実に相違ないことを証明します。

また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

日本年金機構理事長 殿